EINSHTEINさんからのメッセージ

～　泉大津市立小津中学校の終業式での講義において　～

○　中学生のみんなへ

僕は中学生のころ、早く大人になりたくて仕方がなくて、大人ぶった行動をして迷惑ばっかりかけていた。

でも今思うのは…80 歳まで生きるとしたら、18 歳、20 歳からいきなり「大人」って言われて、嫌でも 60 年「大人」をしないといけない。

今 10 代のみんなは、変に大人ぶらずに、全力で子どもをやった方が絶対に楽しい。

全力で「子ども」をやってください！

○　「Mother」という楽曲について

- 母親にたくさん頭を下げさせてたことを、今でも後悔している。
  10 代の頃ってどう頑張ったって大人になれないわけで…
  警察や先生に、母親が僕の代わりにいつも謝ってくれていたのを思い出す。
  母親が謝ってる姿をいつも後ろで見てて、その時、「ああ、ずっと後悔するんだろうな。」って、その当時でも思ってたし、今でも後悔している。

- 親孝行って何だろうって、21 歳になる頃から思い始めた。
  例えば、何かプレゼントするとか、肩を叩いてあげるとか、そういうことを考えるようになった。
  でも、そんなんじゃなくて、例えば自分の誕生日に何かプレゼントしてもらうんじゃなくて、誕生日ってお母さんがお腹を痛めて生んでくれた日なんだなって思うようになった。

誕生日って、親に感謝する日なんだと思えて、逆にお母さんに何かプレゼントするとか、感謝の気持ちを伝えるとか。今は東京にいるんで、電話して「最近どう？」とか他愛もない話でいいから、お母さんを笑顔にするってのが、親孝行なのかなって。

そんな気持ちで作った曲です。

○　「虹」という楽曲について

- これは応援ソング。夢に向かう歌。
  部活やってる子もそうだろうし、何かザックリとでも夢がある人は多いと思う。
  僕も 13 歳から音楽やってて、10 年以上やってるけど、小さい頃に夢見てたのとはちょっと違ってて。でもなんかここで諦めたら、これまでやってきた 10 年が嘘になってしまう。でも、そうはしたくない。
  思ってる形じゃなくても、夢を追ってることに意味があると思う。

- 夢を持っていれば、失敗してくじけても頑張れる。そういう応援ソング。
  みんなはこれから様々な夢を見ると思う。でもくじけるときがあるかもしれない。
  そんな時にこの歌を聞いてほしい。

- 大人になってもいいことなんて…多いかと言ったら、子どもの時の方が多かった。
  大人になって嫌なことはいっぱいあるけど、あきらめず、好きなことつらぬけば、きっと花は咲く。
  そんな気持ちで作った曲。